

第3章

令和5年度の主な取り組み

01 施策方針と主な業務活動

施策方針 ① 安全・安心な水道水の供給

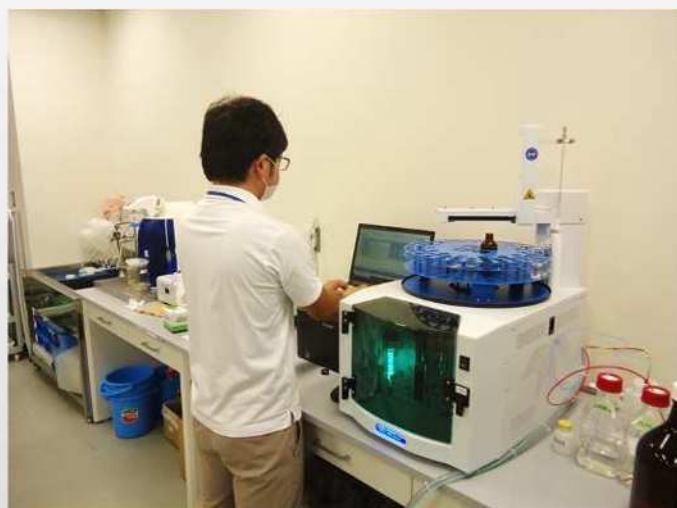
水道水の安全性を確保し、安心して使用していただける水道水を供給します。

主な業務活動 ① 水質試験・クリプト水質試験

安全・安心な水道水を供給するため、検針の場所・項目・回数を記載した「岡崎市水道水質検査計画」を策定し、計画的に水質検査を実施しています。

令和5年度において、浄水の水質検査結果は良好でした。

実績値(アウトプット指標)		前年度
試験地点数 当年度で定めた水質検査計画における試験地点数	106箇所	106箇所
アセットインフォメーション(資産投入状況)		
事業費82,016千円、人員1,219時間/年を投入して、本取組みを実施しました。		



関連サイト

主な業務活動 ② 水質改善検討事業

水道浄水課

365日24時間体制で浄水場の運転及び監視を行うとともに、水源や水道施設の点検等を実施することで安全な水道水を届けています。

令和5年度において、水源水質事故や浄水処理トラブルによる断水は発生していません。

実績値(アウトプット指標)		前年度
定性評価 上位計画である水安全計画の実施度・作業効率性について評価。3点以下で改善が必要となります。	9点	9点

※実績値を定量的に評価できない業務では、1～9点までの点数で定性評価をしています。

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費134,842千円、人員42,563時間/年を投入して、本取組みを実施しました。

主な業務活動 ③ 給水装置工事申込審査業務

サービス課

安全な水道水をお届けするためには、浄水場における水質管理だけでなく、給水装置の安全性も確保する必要があります。上下水道局では給水装置工事事業者が行う給水装置に関する工事を審査し、給水管(水道メーター)の口径に応じて分担金を徴収しています。

令和5年度において、2,726件の審査業務を行いました。



関連サイト

実績値(アウトプット指標)		前年度
分担金収入額 当年度での分担金の申込の合計額	237,694,600円	229,143,200円
アセットインフォメーション(資産投入状況)		
人員2,719時間/年を投入して、本取組みを実施しました。		

施策方針 ① まとめ

本施策方針の推進にあたり、
事業費 **671,987千円**、人員 **49,257時間/年**を
投入して、業務を実施しました。

施策方針 ② 下水道による環境の向上(汚水)



汚水処理施設整備により、公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全を図ります。

主な業務活動 ① 汚水整備業務

下水道工事課

公衆衛生の向上や生活環境の改善、公共用水域の水質保全に寄与するため、汚水処理施設を整備しています。現在は未普及地域における家屋の密集・連たん性の高い区域を効率的に整備しています。

令和5年度は、細川町・真伝町・舞木町・藤川町などで約39haを整備しました。



関連サイト

実績値(アウトプット指標)

事業延長

汚水整備工事に関する事業延長

2,036m

前年度

8,956m

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費372,417千円、人員3,750時間/年を投入して、本取組みを実施しました。



工事名 下水道管敷設工事
(舞木町)
工 種 管敷工
測 点 M7-34.0m

管布設完了
全景

主な業務活動 ② 受益者負担金業務

サービス課

受益者負担金とは、新たに下水道が整備された区域内に土地を所有する方などから、その建設工事費の一部を負担していただくものです。

整備区域では、工事着手前に受益者負担金などに関する説明会を開催し、供用開始の翌年度から受益者負担金(分担金)を賦課します。

令和5年度は、整備工事に合わせた説明会(下写真)を開催するすると共に、令和4年度に整備工事を行った地域の方に、合計56,834,680円の受益者負担金(分担金)を賦課しました。



関連サイト

実績値(アウトプット指標)

調定額

当年度の受益者負担金に関する調定額

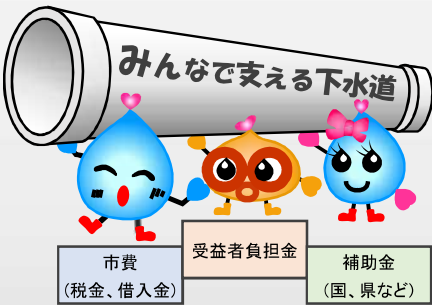
97,625,430円

前年度

68,212,160円

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費4,248千円、人員7,256時間/年を投入して、本取組みを実施しました。



受益者負担金に関する説明会の様子

施策方針 ②
まとめ

本施策方針の推進にあたり、
事業費 **398,552千円**、人員 **21,638時間/年**を
投入して、取組みを実施しました。

施策方針 ③ 水道施設の再構築

今後の事業環境の変化や災害に備えた水道施設の再構築を進めます。

主な業務活動 ① 基幹管路再構築業務

水道工事課

災害や事故発生時に被害が少なく、早期の復旧が可能となるよう、基幹管路の再構築や口径の適正化を進めています。

令和5年度は、以下の業務等を実施しました。

- 実施設計業務 L=4,600m
- 配水管布設工事 L=645m



関連サイト



実績値(アウトプット指標)

定性評価

水道関連の計画として有効性、計画の妥当性から定性的に評価を行います。3点以下では改善が必要となります。

6点

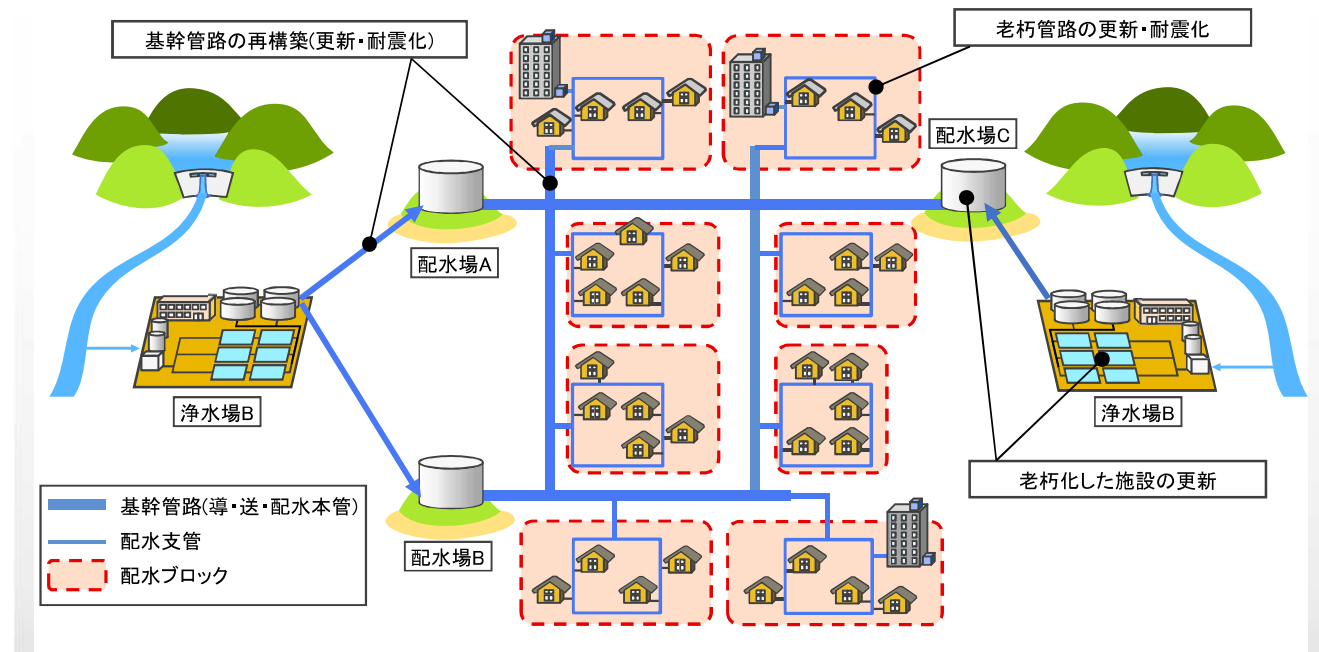
前年度

6点

※実績値を定量的に評価できない業務では、1～9点までの点数で定性評価をしています。

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費588,012千円、人員3,457時間/年を投入して、本取組みを実施しました。



施策方針 ③ まとめ

本施策方針の推進にあたり、

事業費 **588,012千円**、人員 **3,645時間/年**を投入して、取り組みを実施しました。

施策方針 4 安定した水供給の確保

給水の継続に影響を及ぼす大規模地震・洪水・渇水等の災害及び事故に強い安定した水道水の供給を目指し、対策を推進します。

主な業務活動 1 管路耐震化事業(重要給水施設)

水道工事課

災害時に優先的に給水を必要とする避難所やライフライン復旧拠点施設に至る水道管路を耐震化しています。

令和5年度は、以下の工事を実施しました。

- 配水管布設工事 L=1,961m



実績値(アウトプット指標)

事業延長

当年度で実施した重要給水施設路線の耐震化に関わる管工事の施工延長

1,961m

前年度

1,265m

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費688,781千円、人員3,375時間/年を投入して、本取組みを実施しました。

主な業務活動 2 配水管整備事業(道路整備、漏水多発)

水道工事課

道路整備に同調して水道管を更新したり、漏水の実績が多い水道管の布設替を行っています。

令和5年度は、以下の工事等を実施しました。

- 実施設計業務 L=270m (漏水多発)
- 配水管布設工事 L=4,167m (うち道路整備3,062m、漏水多発1,105m)



実績値(アウトプット指標)

事業延長

当年度で実施した道路整備、漏水対策に関わる管工事の施工延長

4,167m

前年度

5,936m

アセットインフォメーション(資産投入状況)

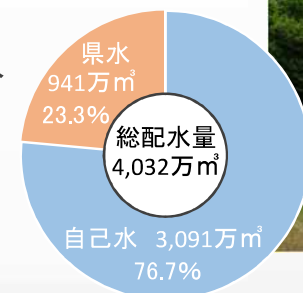
事業費570,066千円、人員1,894時間/年を投入して、本取組みを実施しました。

主な業務活動 3 県水受水業務

水道浄水課

岡崎市では市内で浄水処理した水道水(自己水)の不足を補うとともに、河川等の水質事故や災害などで自己水が不足した場合に備え、愛知県企業庁の豊田浄水場と幸田浄水場で浄水処理された水道水(県水)を受水(購入)し、市内へ配水しています。

令和5年度の県水の受水量は、9,406,350m³(配水量全体の23.3%)でした。



上地配水場 配水池

実績値(アウトプット指標)

定性評価

作業効率性、外部との調整から定性的に評価を行います。3点以下では改善が必要となります。

9点

前年度

9点

※実績値を定量的に評価できない業務では、1～9点までの点数で定性評価をしています。

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費834,535千円、人員75時間/年を投入して、本取組みを実施しました。

施策方針 4 まとめ

本施策方針の推進にあたり、事業費 **2,718,265千円**、人員 **10,456時間/年**を投入して、取り組みを実施しました。

施策方針 ⑤ 地震対策の推進(汚水・雨水)

地震に強い下水道を目指し、地震対策を推進します。

主な業務活動 ① 管渠耐震業務

下水道工事課

耐震性が乏しい管路の改築や地震動に伴う地盤の液状化による人孔浮上抑制などの対策を実施することで、地震時における下水道の流下機能や緊急車両の通行機能を確保します。

令和5年度は、以下の工事等を実施しました。

- 耐震設計(人孔浮上対策) 25箇所
- 管渠改築工事 308m

実績値(アウトプット指標)

事業延長

当年度で耐震化を実施した下水管渠延長

308m

前年度

670m

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費157,475千円、人員1,688時間/年を投入して、本取組みを実施しました。



主な業務活動 ② 災害対策業務 ※災害対応トイレ築造

下水道工事課

災害対策基本法及び同法に基づく通期防災計画に位置付けた施設に、下水道災害対応トイレシステム(以下、「災害対応トイレ」)を築造し、減災対策を図っています。

令和5年度は、避難所に指定されている南中学校に10基の下水道災害対応トイレを設置し、岡崎市内の下水道災害対応トイレは、令和5年度末時点で61施設に計569基となりました。

実績値(アウトプット指標)

築造基数

当年度に築造した災害対応トイレの基数

10基

前年度

5基

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費12,428千円、人員844間/年を投入して、本取組みを実施しました。



施策方針 ⑤ まとめ

本施策方針の推進にあたり、
事業費 **169,903千円**、人員 **2,532時間/年**を
投入して、取組みを実施しました。

施策方針 ⑥ 浸水対策の推進



岡崎市総合雨水対策計画に基づく下水道整備を計画的に行い、浸水対策を推進します。

主な業務活動 ① 雨水整備業務

下水道工事課

岡崎市総合雨水対策計画に基づき都市の浸水を防ぐため、雨水管渠の増設による被害の軽減・最小化を図っています。

令和5年度は、雨水幹線のうち八帖北幹線・大平北幹線・愛宕幹線の整備を進めました。



関連サイト

実績値(アウトプット指標)

事業延長

当年度で整備した雨水管渠延長

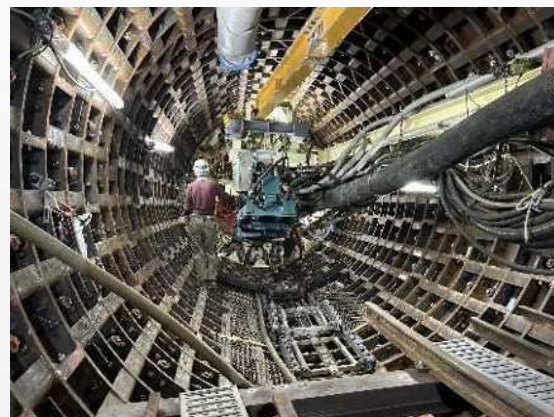
313m

前年度

527m

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費1,141,508千円、人員4,313時間/年を投入して、本取組みを実施しました。



主な業務活動 ② 雨水ポンプ場建設業務

下水道工事課

岡崎市総合雨水対策計画に基づき雨水を速やかに河川へ流すため、雨水ポンプ場の建設により浸水被害の軽減・最小化を図っています。

令和5年度は、(新)八帖雨水ポンプ場の建設に向けて実施設計業務を実施しました。



関連サイト



(新)八帖雨水ポンプ場完成イメージ

構造 鉄筋コンクリート造 地下2階 地上3階
ポンプ能力 25m³/S(現況 14m³/S)



実績値(アウトプット指標)

事業箇所

当年度に実施した雨水ポンプ場築造の事業箇所数

0箇所

前年度

1箇所

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費96,664千円、人員1,275時間/年を投入して、本取組みを実施しました。

施策方針 ⑥ まとめ

本施策方針の推進にあたり、
事業費 **1,254,292千円**、人員 **9,058時間/年**を
投入して、取り組みを実施しました。

施策方針 7 危機管理体制の構築

災害、テロ及びその他の事故や感染症の流行のような非常事態が発生しても、迅速かつ適切に対応することができる危機管理体制を構築します。

主な業務活動 1 BCP計画の再整理

経営管理課

上下水道施設が市民生活にとって重要なライフラインのひとつであり、災害時にもその機能を維持または早期回復することが必要不可欠であることを踏まえ、従来それぞれの課が所管していた危機管理マニュアルを基に、災害時に必要となるリソース（人員、資機材）を検討し、令和3年度にBCP（業務継続計画）を策定しました。

令和5年度は、能登半島地震の応援に従事した職員の経験を局全体に共有し、BCP及び各課のマニュアルの見直しを実施しました。



実績値(アウトプット指標)

前年度

定性評価

業務の的確性、実効性について評価、3点以下で改善が必要となります。

6点

6点

※実績値を定量的に評価できない業務では、1～9点までの点数で定性評価をしています。

アセットインフォメーション(資産投入状況)

人員656時間/年を投入して、本取組みを実施しました。



災害対応訓練の様子

主な業務活動 2 営業設備費 ※車両・工具等の購入

水道工事課

災害対応や水道管路の事故などに備えて、速やかな応急給水や復旧を図るため資器材を確保しています。

実績値(アウトプット指標)

前年度

定性評価

設備の調達内容・数量の妥当性、調達したものを有効活用できているかを評価、3点以下で改善が必要となります。

9点

9点

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費5,097千円、人員94時間/年を投入して、本取組みを実施しました。



施策方針 7 まとめ

本施策方針の推進にあたり、
事業費 **8,160千円**、人員 **1,031時間/年**を
投入して、取組みを実施しました。

施策方針 ⑧ 適切な資産管理（水道）

上下水道の資産（管路・浄水場・下水道ポンプ場等）を適切に維持管理し、健全な施設機能を維持します。

主な業務活動 ① 施設改修事業

水道浄水課

水道水の安定供給を図るため、浄水場や配水場、ポンプ場の設備等の改修を行っています。

令和5年度は、以下の改修工事を行いました。

- 北野配水場受水槽塗装工事(写真)
- 大西配水場配水管布設工事 ほか31件



北野配水場受水槽 塗装工事

実績値(アウトプット指標)		前年度
定性評価 作業効率、業者との調整の観点から評価、3点以下で改善が必要となります。	9 点	6 点

※実績値を定量的に評価できない業務では、1～9点までの点数で定性評価をしています。

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費370,863千円、人員3,938時間/年を投入して、本取組みを実施しました。

水道工事課

主な業務活動 ② 水道事故対応業務（漏水・路面陥没・濁り・凍結等）

水道管路の漏水、濁り等の事故の復旧作業を職員が行うことで、迅速かつ安全・安心な水供給の復旧に努めています。

令和5年度は、以下の水道事故が発生しました。

- 即時緊急修繕件数 351件
- その他修繕対応件数 531件



漏水により水があふれる消火栓弁室の修繕

実績値(アウトプット指標)

対応件数 当年度の水道事故の対応件数	797件	前年度 703件
-----------------------	------	-------------

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費58,510千円、人員22,875時間/年を投入して、本取組みを実施しました。

主な業務活動 ③ 老朽管更新事業

水道工事課

老朽化による事故発生リスクの高い水道管を優先的に布設替しています。

令和5年度は、以下の布設替工事を実施しました。

- 配水管布設工事 L=5,915m

実績値(アウトプット指標)		前年度
事業延長 当年度で行った老朽化に伴う管布設替工事の延長	5,915m	6,118m

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費949,523千円、人員4,388時間/年を投入して、本取組みを実施しました。



施策方針 ⑧ まとめ

本施策方針の推進にあたり、
事業費 **2,363,864千円**、人員 **64,016時間/年**を投入して、取り組みを実施しました。

施策方針 ⑧ 適切な資産管理（污水・雨水）



主な業務活動 ① 緊急修繕業務（管渠破損・閉塞等）

下水道施設課

岡崎市では、下水道における管渠の破損や閉塞等への対応を職員と事業者が連携して行うことで、迅速かつ安全な復旧に努めています。令和5年度は、以下のような緊急修繕を行いました。

- 本管及び取付管の詰まり対応
- 同破損に伴う道路等の陥没対応

実績値(アウトプット指標)		前年度
修繕件数 当年度で実施した修繕件数	23件	27件

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費94,935千円、人員863時間/年を投入して、本取組みを実施しました。



主な業務活動 ② 下水道施設運転管理業務

下水道施設課

下水道施設の機能を十分に発揮できるように、施設の運転管理を3年の長期継続契約により委託しており、維持管理に万全を期しています。

令和5年度は長期継続契約の2年目で、良好に業務を遂行しています。



実績値(アウトプット指標)

定性評価

業務の的確性、運転管理の確実性について評価、3点以下で改善が必要となります。

4点

前年度

4点

※実績値を定量的に評価できない業務では、1～9点までの点数で定性評価をしています。

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費303,089千円、人員1,594時間/年を投入して、本取組みを実施しました。

主な業務活動 ③ 管渠改築業務

下水道工事課

下水道管渠の流下機能を確保するとともに、道路陥没等の事故を未然に防止するため、岡崎市ストックマネジメント計画に基づいて老朽化した管渠の改築工事を行っています。

令和5年度は、以下の改築工事を実施しました。

- 管渠改築工事 L=8,233m

実績値(アウトプット指標)

事業延長

当年度で行った管渠改築工事の延長

8,233m

前年度

9,029m

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費1,849,612千円、人員5,344時間/年を投入して、本取組みを実施しました。



施策方針 ⑧ まとめ

本施策方針の推進にあたり、
事業費 **3,248,413千円**、人員 **20,403時間/年**を
投入して、取り組みを実施しました。

施策方針 ⑨ 企業価値の向上

良好なサービス提供や社会貢献活動などにより、公営企業としての価値向上を図ります。

主な業務活動 ① 上下水道局検針受付収納等事業・検針受付収納等事業(包括委託)

岡崎市では、水道料金、下水道使用料及び農業集落排水処理施設使用料の収納に関わる業務(検針・調定・受付・収納・電子計算処理・その他附帯業務)を包括的に第一環境株式会社に委託しています。

現在の契約では、令和2年を準備期間として令和3年1月から令和7年12月末までの5年間の業務期間となっています。

サービス課



実績値(アウトプット指標)		前年度
定性評価 作業の効率性や業者との調整について評価、3点以下で改善が必要となります。	6点	6点

※実績値を定量的に評価できない業務では、1～9点までの点数で定性評価をしています。

アセットインフォメーション(資産投入状況)
事業費358,209千円、人員1,125時間/年を投入して、本取組みを実施しました。

主な業務活動 ② 水源保全事業

岡崎市の上下水道事業に関わる10企業と協定を結び、「未来へつむぐ岡崎の水プロジェクト」を実施しています。

令和5年9月からは第2期に入り、これまでの水源調査や間伐体験からステップアップを目指します。



関連サイト



経営管理課

実績値(アウトプット指標)		前年度
参加人数 当年度の水源保全に関するイベントの参加者数	22人	71人
アセットインフォメーション(資産投入状況)		
事業費491千円、人員1,219時間/年を投入して、本取組みを実施しました。		

サービス課

主な業務活動 ③ 排水設備、除害施設の設置に関する受付・工事申請の審査、検針業務

個人・事業者が設置する宅内排水設備は、下水を延滞なく適切に流すため重要な役割を果たしています。

岡崎市では、こうした排水設備や下水道法における除害施設(ガソリンスタンド、ランドリー、飲食店など)が排除基準を順守し、汚水・雨水が誤接続なく適切に設置されるよう、工事前の受付・審査及び工事完了後の検査を行っています。

令和5年度は、1,859件の工事申請があり、審査・検査を実施しました。



実績値(アウトプット指標)		前年度
事業延長 当年度で受付けした件数	1,859件	2,090件
アセットインフォメーション(資産投入状況)		
人員8,381時間/年を投入して、本取組みを実施しました。		

施策方針 ⑨ まとめ

本施策方針の推進にあたり、
事業費 **437,918千円**、人員 **36,377時間/年**を投入して、取り組みを実施しました。

施策方針 10 健全な事業経営

持続的な上下水道を支える安定的な事業経営を実施します。

主な業務活動 1 審議会の運営(水道事業)

経営管理課

上下水道事業の妥当性・透明性を高めるとともに、第三者の視点に立った公正な事業運営を推進するため、岡崎市水道事業及び下水道事業審議会（以下「審議会」）を設置しています。



関連サイト

令和5年度は、以下の日程で「適正な水道料金のあり方について」の審議を行い、「令和7年度から平均改定率9.7%の料金値上げが妥当である」との答申をまとめ、10月4日に岡崎市長に提出しました。

- 4月19日 第3回審議 ● 5月17日 第4回審議 ● 6月28日 第5回審議
- 7月26日 第6回審議 ● 8月25日 第7回審議 ● 9月22日 第8回審議
- 10月4日 「適正な料金のあり方について」の答申

実績値(アウトプット指標)		前年度
開催回数 当年度で開催した審議会の回数	6回	4回
アセットインフォメーション(資産投入状況)		
事業費637千円、人員469時間/年を投入して、本取組みを実施しました。		

経営管理課

主な業務活動 2 企業債事務(元金償還金・利息償還金・借入金・利息・元金)

企業債とは、水道管や下水道管、浄水場や污水ポンプ場など水道・下水道事業に関わる施設の建設や更新等を行うための資金とするために国などから借り入れるお金のことです。

水道・下水道施設は次世代にわたり活用される資産であるため、企業債の返済を次世代にも負担してもらうことにより、現世代の負担を軽減分配し、世代間負担の公平性を確保しています。

令和5年度の企業債の借入、償還並びに年度末時点における未償還残高は以下のとおりです。

区 分	借 入 金	償 還 高	年度末未償還残高
水道事業	748,000,000	1,373,640,382	14,402,898,861
下水道事業	3,319,500,000	4,271,356,273	63,710,002,491
計	4,067,500,000	5,644,996,655	78,112,901,352

(円)

実績値(アウトプット指標)

前年度

金額 当年度の企業債及び一時借入金の額	78,112,901,352円	79,690,398,007円
------------------------	-----------------	-----------------

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業6,714,994千円、人員1,031時間/年を投入して、本取組みを実施しました。

主な業務活動 3 流域下水道管理運営費負担金事務

サービス課

矢作川流域下水道(以下、「流域下水道」)は、矢作川の沿線流域に位置する4市1町(岡崎市、豊田市、安城市、西尾市、幸田町)に及ぶ愛知県内最大の処理区域を持っています。

流域下水道の運営費について、各市町の総処理汚水量や計画汚水量を基準に負担しています。



矢作川浄化センター（西尾市港町1）

実績値(アウトプット指標)

前年度

負担金額 当年度の負担金額	1,592,573,370円	1,317,898,847円
------------------	----------------	----------------

アセットインフォメーション(資産投入状況)

事業費1,592,573千円、人員563時間/年を投入して、本取組みを実施しました。

施策方針 10 まとめ

本施策方針の推進にあたり、
事業費 **10,381,322千円**、人員 **37,925時間/年**を投入して、取り組みを実施しました。

施策方針 11 組織の基盤強化

職員による直営体制を堅持するとともに、職員の能力を向上させ、さまざまな施策を推進するための組織基盤を強化します。

主な業務活動 1 外部研修関係事務

総務課

岡崎市上下水道局人材育成方針に基づき、上下水道事業に携わる職員として必要な知識や技術の習得を図っています。このうち事業経営に必要な資格の取得やスキルアップについて、外部研修の受講を促進しています。

令和5年度は、以下のとおり計43件の外部研修に参加しました。

- 業務活動を実施するために必要な講習等 27件
- 職員のスキルアップに関する研修等 16件



関連サイト

実績値(アウトプット指標)		前年度
受講件数	43件	37件
当年度の外部研修の受講件数		

アセットインフォメーション(資産投入状況)
事業費1,118千円、を投入して、本取組みを実施しました。



外部研修の受講

主な業務活動 2 業務プロセスの策定・監理業務

経営管理課

年々、職員数は減少傾向にあり、従来通りの業務のやり方を続けていては、上下水道施設のライフラインとしての機能を維持することが困難になることが想定されます。そこで、上下水道局では今までの業務のやり方を変える業務改革に取り組んでいます。

令和5年度は、令和3・4年度に引き続き業務手順書のレベルアップに努めるとともに、業務手順書を活用したRPAやICTツールを活用した業務改善を実行しました。

また、鈴鹿市と交流を行い、業務改善の取組事例を共有しました。

実績値(アウトプット指標)		前年度
プロセスの改善件数	76件	596件
当年度で実施した業務プロセスの改善件数		
アセットインフォメーション(資産投入状況)		
人員281時間/年を投入して、本取組みを実施しました。		



業務改善手法を学ぶための局内研修の実施

施策方針 11 まとめ

本施策方針の推進にあたり、
事業費 **1,118千円**、人員 **487時間/年**を
投入して、取組みを実施しました。

02 SDGsとの関わり

「SDGs」は、2015年の国連サミットにおいて全加盟国が合意した、「『誰一人取り残さない』持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標」です。環境・差別・貧困・人権等について17の目標が掲げられており、世界全体で取り組む計画・目標です。

岡崎市が行う上下水道事業にて、関連するSDGsの目標は以下のとおりです。



SDGsの目標

6

安全な水とトイレを世界中に

目標6「安全な水とトイレを世界中に」
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

7

エネルギーをみんなにそしてクリーンに

目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

9

産業と技術革新の基盤をつくろう

目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
強靱(レジリエント)なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

11

住み続けられるまちづくりを

目標11「住み続けられるまちづくりを」
包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

13

気候変動に具体的な対策を

目標13「気候変動に具体的な対策を」
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

15

陸の豊かさも守ろう

目標15「陸の豊かさも守ろう」
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の素子・回復及び生物多様性の損失を阻止する



岡崎市上下水道ビジョンとSDGsの関係



基本理念		基本方針	施策方針		SDGsの目標(6/17目標)	
上下水道 暮らしを支える	1	安全・安心な水道の供給	水道水の安全性を確保し、安心して使用していただける水道水を供給します	6		
	2	下水道による環境の向上	下水道の汚水施設整備により、公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全を図ります。	6		
	3	水道施設の再構築	今後の事業環境の変化や災害に備えた水道施設の再構築を進めます。	6	9	11
	4	安定した水供給の確保	給水の継続に影響を及ぼす大規模地震、洪水、渇水等の災害及び事故に強い安定した水道水の供給を目指し、対策を推進します。	6	9	11
	5	地震対策の推進	地震に強い下水道を目指し、地震対策を推進します。	6	9	11
	6	浸水対策の推進	岡崎市総合雨水対策計画に基づく下水道整備を計画的に行い、浸水対策を推進します。	6		11 13
	7	危機管理体制の構築	災害、テロ及びその他の事故や感染症の流行のような非常事態が発生しても迅速かつ適切に対応することができ、危機管理体制を構築します。	6		13
	8	適切な資産管理	上下水道の資産（管路、浄水場、へ水道ポンプ場等）を適切に維持管理し、健全な施設機能を維持します。	6	7	
	9	企業価値の向上	良好なサービスの提供や社会貢献活動などにより、公営企業としての価値の向上を図ります。	6		15
	10	健全な事業経営	持続的な上下水道を支える安定的な事業経営を実施します。	6		
	11	組織の基盤強化	引き続き職員による直営体制を堅持するとともに、職員の能力を向上させ、さまざまな施策を推進するための組織基盤を強化します。	6		

水道 下水道 水道・下水道